

地域連携協働NEWS

福島県教育庁南会津教育事務所 総務社会教育課

文部科学省『コミュニティ・スクールのつくり方』よりCSについて説明していきます

1 町・地域・学校は今…

次の語群の中で地域や学校にとって「このままの成り行きに任せていたら、将来まずいことになるのでは?」という課題をチェックしてみましょう。

- 少子高齢化 □学校の再編・統合 □携帯電話・SNS □道徳の教科化
- 人手不足 □PTA □子ども会 □地域の担い手 □子供の安全・安心
- 部活動 □外国語教育 □小中一貫 □地域行事・祭り □外国人居住者
- 伝統文化継承 □産業振興 □ギガスクール □キャリア教育 □いじめ
- 空き家 □防災・防犯 □働き方改革 □生徒指導 □学力向上…



【田島高校除雪ボランティア】R3.1.15

「ほとんど当てはまるなあ…」 「そういえば後回しにしているような…」 という課題はありませんか？
これらの課題は[学校だけ][地域だけ][家庭だけ]で解決するのはとても困難で、地域の未来を創るためには「**地域社会総掛かり**」で対応しなくてはならなくなってきています。それを実現可能にする仕組みの一つが“**コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)**”です。

2 そもそもなぜ、コミュニティ・スクールが必要と感じたのですか？



【旭田小学校しんごろうづくり】R2.12.1

全国のCSを導入した教育委員会・学校の意見を見てみましょう。

【教育長】～社会に開かれた教育課程の実現のために～

「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて、まずは保護者や地域住民との情報や課題を共有し、共通の目標を設定し、それに向かって教育活動を進めたいと考えたからです。

【学校教育課担当】～義務教育9年間の学びの充実のために～

子供たちの家庭や地域での学び、発達の段階に応じた「心の成長」等も一緒に考えていく必要があります。義務教育9年間について協議する場として学校運営協議会が必要と感じたからです。

【社会教育課担当】～連携・協働体制の構築に向けて～

「依頼する⇔される」という関係ではなく、目標や役割分担等について話し合う場を設定すべきではないかと考えました。

【教育委員】～地方創生を目指して(学校を核とした地域づくり)～

町の人口減少は喫緊の課題です。「大人が学ぶ」姿を子供たちに見せることで、町・地域は「自分たちで創るんだ」ということを感じてほしいと思っています。

【学校長】～社会総掛かりで子供たちを育む体制をつくりたい～

意見をいただくだけでなく、多くの地域住民や保護者にも、学校と方向性を合わせ、“一体となって”子供たちの成長に関わっていただけるような体制をつくり、後世に残る学校にしたいと考えたからです。

次号では
CSのメリット・魅力
をお届けします



【田島中学校着付け体験】R2.10.28

<地域連携担当教職員等研修会のお知らせ>

- 日時 令和3年7月9日(金) 13:30～
- 会場 南会津町 御蔵入交流館 多目的ホール
- 内容 「CS導入のあゆみ～只見町～」 「人材・企業リストの活用」を予定しています。後日御案内しますのでお待ちください。